

## インスリン投与量の観点からみた腹腔鏡肝切除の低侵襲性に関する研究

### 1. 研究の対象

2022 年 1 月～2023 年 4 月に当院で肝切除術を受けられた方です。

### 2. 研究目的・方法

腹腔鏡下肝切除術は開腹手術に比べて、手術鉗子の操作の制限があり高度な知識と技術が必要ですが、創が小さく痛みが少ないとされ、術中出血量が少なく、術後合併症発生率が低く、在院日数が短いことが報告されています。

一方、肝切除術をはじめ侵襲が大きな手術では血糖値が高くなることが知られています。当院では肝切除術の手術中から術後にかけて人工膵臓装置を用いた血糖管理を行っています。腹腔鏡下肝切除術と開腹下肝切除術を血糖管理の点で比較し、腹腔鏡下肝切除がより低侵襲と考えられるかどうかを検討することを目的とし、後方視的に診療録から血液検査所見等の情報を収集して本研究を行います。

研究期間は研究機関の長の実施許可日～2025 年 2 月 28 日です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、糖尿病の有無、血液検査データ、人工膵臓装置の記録（血糖値、必要としたインスリン量等）、術後合併症、術後入院期間、等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

電話 088-880-2370

高知大学医学部附属病院 外科（消化器外科） 藤澤 和音（研究責任者）